



とのまるくん
(殿ダムイメージキャラクター)

因幡のくにの夢づくり

「とのまる通信」

殿ダム建設事業広報誌

第56号
2011-12-20

発行：国土交通省中国地方整備局 殿ダム工事事務所 鳥取県鳥取市国府町宮下1221 TEL)0857-29-9570 FAX)0857-29-9612 http://www.cgr.mlit.go.jp/tono/index.html

地元の方々に
よくしていただいたことなど
様々な思い出が蘇ります。
ダム機能である治水・利水・発電
などは普段は目立ちませんが、
その機能を十分発揮し、
鳥取市と地域の安全・安心に
つながってほしいです。

神尾 重雄

今日ここに
完成式を迎えられたのも、
ひとえに土地を提供された方々
のご決断があつたことと思います。
鳥取市民の方は殿ダムを感謝の地、
また、地権者の方は先祖を思う地
として、つながっていけたら
いいなと思います。

山口 温朗

地権者の方々や
地元の皆さん、そして鳥取県には
大変お世話になりました。
今後、殿ダムが鳥取市の安全・安心と
地域の活性化に
つながってほしいです。

渡邊 高士

完成式に出席された『歴代所長インタビュー』
土地を提供された方々に感謝しつつ、
殿ダムが、鳥取市の安全・安心、そして、
地域の活性化につながることを願います。

基本計画策定期間に
課長として、また本体工事の最盛期に
所長として赴任したので、
思い出もひとしおです。
今後、地域に開かれたダムと
なることを期待しています。

仮排水路トンネルの中で
地域の方とゴスペルコンサート
を行ったことが楽しい思い出として
蘇ります。今後はダムを活用し、
地元と鳥取市が賑わって
ほしいですね。

地元や地域の方々の協力で
できたダムであることを
市民のみなさんには忘れないで
いてほしいですね。
今後は地域の財産として、
親しまれるダムになって
ほしいと願っています。

お～い！今、堤体75mの
頂上を歩いているよ～！
見えますか～！

湖面に映る景色もいので、
今度は写真の仲間を誘って
来ようと思っています。

殿ダム NEWS 1

殿ダムウォーキング大会の開催

平成23年10月23日(日)に新たに誕生した湖の周辺を歩く『殿ダムウォーキング大会』が鳥取市の企画により開催されました。当日は雨模様の中、多くの参加者(約570人)で賑わい、紅葉の始まったダム周辺の景色を楽しみながら、歩いていただきました。大会本部では、地元の吉野そばや成器なべが振る舞われ、地元特産品の販売も行われるなど、盛況な様子うかがえました。今後も殿ダム水源地域の活性化の取り組みの1つとして、継続的な実施が望まれます。



ダム堤体の上を歩く参加者たち。



大会あいさつ後、準備運動で体をほぐして一斉にスタートしました。



殿ダム完成式を行いました

平成23年11月27日(日)に中国地方整備局で初めてのロックフィルダムである殿ダムの完成式を行いました。
最初に鳥取市国府町中央公民会で完成式典を行い、続いて完成した殿ダムへ移動し、くす玉割りや湖名を刻んだ石碑を披露するなどして、地権者の方々をはじめ、来賓、行政関係者など、多くの出席者によって殿ダムの完成を祝いました。

ダム堤体最上部にてくす玉割りをを行い完成を祝いました。

殿ダム完成式を終えて

殿ダムは、治水・利水機能を持つ多目的ダムとして、平成3年から本格的に事業を開始しました。
ダム建設事業には、広大な土地と家屋移転を必要としましたが、地権者の皆様のご理解とご協力をいただき、事業を進めることが出来ました。

平成21年10月には県道の付替区間全線が開通、平成22年10月にはダム本体の盛立て工事を完了しました。
平成23年4月にはダムの安全性を確認する試験湛水を終え、5月からはダムの暫定運用を開始し、出水時の洪水調節などダムの機能を発揮し始めています。

多くの皆様のご理解とご協力を得て完成した殿ダムが、治水・利水・環境の機能を備えた基幹施設として、その効果を十分発揮できるように職員一同、殿ダムの管理に万全を期す所存です。引き続き皆様方のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



殿ダム工事事務所 所長 山田 啓一



お問い合わせ＆お便りのあて先

国土交通省 中国地方整備局 殿ダム工事事務所 とのまる通信編集部

〒680-0151 鳥取県鳥取市国府町宮下1221
TEL)0857-29-9570 FAX)0857-29-9612
http://www.cgr.mlit.go.jp/tono/index.html



佐藤国土交通技監から感謝状を贈呈しました。

多くの皆さんの力添えにより 殿ダムが完成しました！

平成23年11月27日(日)に鳥取市国府町中央公民館で完成式典を行いました。完成式典では、平井鳥取県知事、竹内鳥取市長をはじめ、地元選出国議員などから祝辞をいただき、また、殿ダム建設において多大なご協力、ご尽力いただいた殿ダム建設対策同盟会、殿ダム対策残存地権者同盟、鳥取市には感謝状を贈呈させていただきました。

地権者の方々をはじめ、来賓、行政関係者など約250名の出席者により、殿ダムの完成を祝いました。



式典の様子

故郷拾石の思い出は山ほどありますが、過去を振り返っていてもしょうがありません。殿ダムが完成し、未来に向かって新たなスタートを踏み出した訳ですから…。今後は、殿ダム周辺に桜やもみじを植えて、四季を通じて憩える場になることを願っています。【拾石集落は殿ダム建設により集落全世帯が移転。かつて集落があった場所には記念碑が建てられ、故郷を偲ぶ拠り所となっています。】



殿ダム建設対策同盟会
委員長 米山 幹雄 氏

私が国府町長になって1年後に地権者の組織である殿ダム建設反対同盟を対策同盟に切り替えていただいたのが、建設に向かう大きなステップでした。今後は殿ダムが地域はもちろん、市民の皆さんに愛され、親しんでいただく場になることを願っています。



木村 肇 元国府町長



ダムでの式典のオープニングは“いきいき成器太鼓”のみなさんによる演奏で威勢良く幕を開けました。

完成の日が終結点ではなく、地域づくりのスタートとしていきましょう



平井伸治鳥取県知事

本日、これまで大変苦勞した殿ダムの完成の日を迎えましたが、単なる終結点ではなく今日がスタートとして新しい村づくり、町づくりが始まる日にしなければと改めて思います。御協力いただいた神護、殿、楠城、拾石を始めとした成器、大茅地区の皆様には本当に心からの敬意と感謝を申し上げます。事業では多くの土地が水の底に沈みましたが、これから安心の暮らしや豊かな故郷を

作り、素晴らしい景観の源にもなっていかなければなりません。今、神護の“かやぶき交流館”、楠城の“ふるさと広場”等、今後に向けた展開が始まっており、私自身も拾石の「絆の碑」に協力させていただきました。今後は、地元の皆さんと共にこれからの故郷づくりを進め、また数百年にわたる村での伝統と歴史、思い出を引き継いで、この故郷を育てていきたいと思っています。

平成24年4月からは、ダムからの眺めを堪能することができます。



殿ダム建設により、36世帯が移転され、地域は一気に寂しくなりました。地元に残った者が、地域を盛り上げていくためにも、現在進行中の周辺整備を早急に進めていただき、地域の活性化につなげていきたいと思っています。ダムは完成し、ひとくぎりつきましたが、残存の地権者にとってはこれからがスタートだと思っています。



くす玉割りと湖名を刻んだ石碑の除幕後、参加者は県内で最も高い(75m)ダムからの眺めを堪能しながら、ダムの渡り初めをされました。



湖名が刻まれた石碑の除幕を行いました。



殿ダム対策残存地権者同盟
副委員長 山崎 豪太郎 氏

ダムの「湖名」と「湖面橋名」が決まり 湖名を刻んだ石碑の除幕を行いました。

完成式会場を殿ダムへ移し、くす玉割りと湖名を刻んだ石碑の除幕により殿ダムの完成を祝いました。

名称決定
★湖名
いなばまんようこ
「因幡万葉湖」
★湖面橋名
との おおはし
「殿ダム大橋」

名称の選考にあたり、殿ダム工事事務所及び鳥取市により一般公募を行いました。公募した結果、湖名は延べ351件、湖面橋名は延べ312件の応募作品があり、選考委員会において審査などを行った結果、湖名は『因幡万葉湖』、湖面橋名は『殿ダム大橋』に決定しました。

なお、因幡万葉湖には4名の応募、殿ダム大橋については7名の応募があり、応募者の名称説明の内容をふまえて選考した結果、『因幡万葉湖』は有田進さん(鳥取市在住)、『殿ダム大橋』は瀧山遥華さん(鳥取市在住)を命名者とさせていただきます。



湖面橋命名者の瀧山遥華さん(左)と、湖名命名者の有田進さん(右)。



竹内功鳥取市長

国府町の歴史・文化と殿ダムで実現した新たな湖や利便性を活かした地域振興

約50年前に始まったダムの調査、建設の話は、地元の皆様には多くのご苦勞やご苦悩があったと思います。それを乗り越え、勇気ある決断とその決断を周りの方が支えて今日を迎えたということだと思います。また、国土交通省並びに鳥取県、市(旧国府町)の優れた計画と実行力、そして施工者の皆様の優れた技術とご努力があって、完成という結晶となったことと思います。

この国府町地域の歴史・文化と殿ダムで実現した新たな湖や利便性を活かしながら地域振興を進めることが我々に課せられた大きな使命だと考えています。殿ダムの完成によって、下流の市街地の安全を守り、工業用水、水道用水、発電などの大きな機能が働き、その効果を喜び、活かして、国府町地域、鳥取市そして鳥取県の発展を図っていきたくと心から念じています。